

Nicolai, Nicolo de'

Le navigationi et viaggi, fatti nella Tvrchia.

Venetia, F. Ziletti, 1580. 192p. 67 plates (copper mono). 29×20cm. <K383. 126

-N> 文献番号 3-105

Hiler p. 656 Colas 2203

ニコライ『トルコ旅行記』

本書は1551年のトルコ、アラビア、ペルシアなどの旅行記であって、1567年のフランス語初版のイタリア語訳であり、数学者フランチェスコ・フローリが翻訳している。ジャコポ・ボンコンパーニョに捧げる献辞がある。トルコ、アラビア、ペルシア、ギリシアの各国の男女、それも上は高位の聖職者から下に奴隷に至る社会の各階層の人物を描いている。戦時及び平時の男女の衣服・風習など東洋の衣装の正確な技法を示している。デッサンはニコライが描いているが、銅版の刻版はレイ・ダネが当たっている。

イタリア語訳としては1576年、1577年の版もあるが、双方とも図版は60枚で原本と同じだが、この1580年版では67枚あって、フランス語版より7枚多い^注。ニコライには1567年版の原本のほか、多少異なった書名ながら同じ内容の本を1576、1586年にも出している。またオランダ語訳、ドイツ語訳(2種)、英語訳も出版されているので、この本が当時大いにもてはやされていたことがわかる。

ニコライはフランスの旅行家。1517年にフランス南部、ドーフィネ地方の寒村ラ・グラヴ・ドワザンに生まれ、1583年パリに没す。初め軍籍にあり、1542年のペルピニャンの攻囲戦に参加。以後ヨーロッパ各地の軍隊に勤務、17年間にドイツ、デンマーク、スエーデン、プロシア、イギリス、スコットランド、スペインを遍歴した。この間多くのスケッチを遺している。フランスに戻ってからは当時のフランス王アンリ2世の侍従及び王室付地理学者となった。1551年5月にはコンスタンチノーブルの駐在大使ガブリエル・ダラモンに従ってアルジェ、トリポリ、ギリシアを訪ねている。彼はヨーロッパの殆ど全ての言語に通じ、又デッサンを描き、地図や図書の中に入れる版画のデッサンを描いた。彼の作品は芸術的にみても優れており、地理学的にみても正確であった。(植田)

注) このイタリア語版にあって1567年のフランス語原版にない図版はp. 154, 182, 184, 186, 188, 190, 192の7枚である。

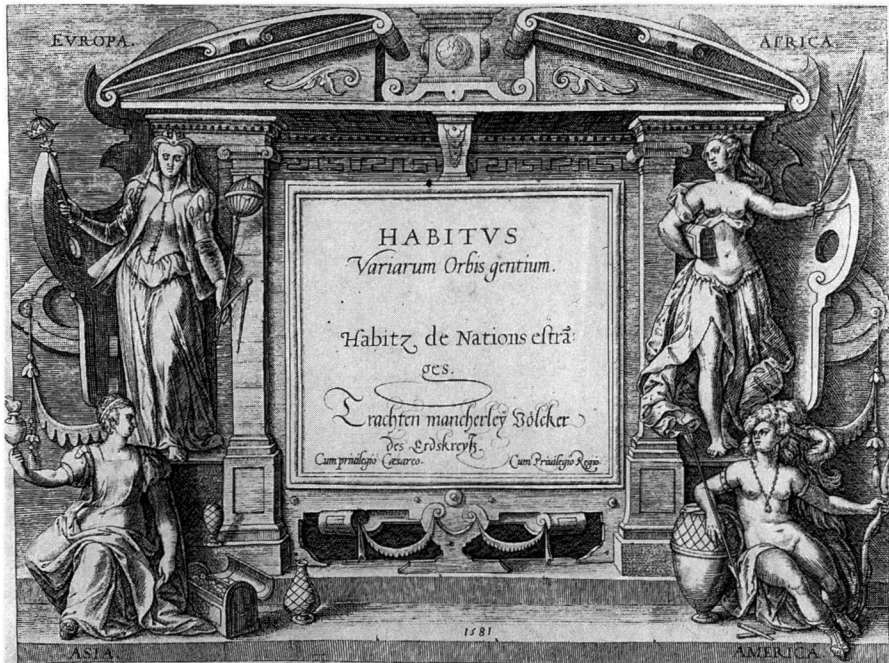




『トルコ旅行記』かつてのトルコ後宮の婦人



『トルコ旅行記』メッカの巡礼者



ボワサル『各国の服装』扉絵